

實相院だより

令和六年八月

百三十七号

お供え

毎朝、お仏壇に、ご飯と水かお茶をお供えし、お参りをしましょう。

「智山勤行式」を全部唱えるのが難しい方は、「南無大師遍照金剛」と三回お唱え下さい。

○ ○ ○
ご飯は、朝炊いたご飯のおはつをお供えします。

お供えしたご飯は、捨てずにお下がりをお供えいただけます。

仏さま、ご先祖さまと同じ一つのものを食べることで、同じ一つの命のつながりをもつことになります。

○ ○ ○
果物、お菓子をお供えするときは、高坏に盛ってお供えします。

果物とお菓子を一対にして向かって左側の高坏が果物、右側がお菓子です。

○ ○ ○
みえない仏さま、ご先祖さまがそこにおられるとお仕える心が大切です。この姿を見て育った子どもや孫は、心豊かな思いやりのある人に育つでしょう。

お願い

新型コロナウイルス感染症予防のため、お寺参りにお越しの際は、本堂玄関での手指の消毒にご協力をお願いいたします。なお、堂内でのマスク着用は、昨年同様、個人の判断にゆだねます。

また、十三日は気温が高くなることが予想されます。熱中症対策にご協力をお願いします。
十三日の夕方は、大変混み合います。時間をずらしてのお参りをお勧めいたします。

實相院の仏(十)

賢蔵院(十王堂)

(井川町今戸字家の後74番地)

亡くなられた方の生前の行いを審判し、死者の来世、生まれる所を決定すると言われる十人の王をまつるお堂が十王堂です。

實相院の過去帳に賢蔵院の庵主さんの名前が記されており、お墓もあります。庵主さんは、お葬式のお手伝いをされていたようです。

大正六年五月二日、賢蔵院は火災に遭い、このとき、本尊阿弥陀如来像(金銅仏)を紛失したと伝えられています。

現在の賢蔵院は、平成十一年に新築されました。本尊阿弥陀如来、釈迦如来、不動明王と両童子、弘法大師、火災で炭化してしまった十王像十体がまつられています。

元朝、お盆の十三日、彼岸の入り、中日、明けは、お堂が開いております。お参りください。

お盆棚経予定

十四日 大今戸

十五日午前 小今戸、新屋敷

午後 浜井川方面、五城目町

八郎潟町、大潟村、三種町

十六日 潟上市、秋田市

遠方の方で、お盆の棚経をお寺で希望される方は、供物の準備がありますので、お早めにご連絡をお願いします。

◎お寺での月忌経(月命日のお経)を受け付けております。ご相談ください。